

授業科目名	生徒指導論	必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	教職に関する科目(生徒指導、教育相談及び進路相談等に関する科目)					
サブタイトル	生徒理解に基づく実践的生徒指導論	担当者	関 巖			
講義概要	<p>【概要】中学校・高等学校における生徒の実態に基づき、生徒指導の理論と実践の方法を学ぶ。受容的な生徒理解の方法に基づく、生徒の問題行動への対応を具体的な事例を挙げながら学び、生徒指導の実践力の養成が図れるように意見発表(グループ討議を前提とする。)やレポートを重視しながら講義を進める。</p> <p>生徒指導の実践力を養成する観点から、学校における指導の実際に触れるようにする。</p> <p>【到達目標】 上記内容について十分理解することとする。</p>					
履修条件	本気で教職をめざす者に限る。					
教科書・参考書	【教科書】 【参考書】 講義の中で指示する。					
授業回数	内容					
1	生徒指導の概要(教育的意義、目的)					
2	問題行動への対応Ⅰ(身だしなみ指導)					
3	問題行動への対応Ⅰ(身だしなみ指導)					
4	問題行動への対応Ⅰ(身だしなみ指導)					
5	問題行動への対応Ⅱ(いじめ問題)					
6	問題行動への対応Ⅱ(いじめ問題)					
7	問題行動への対応Ⅲ(学業不振問題)					
8	問題行動への対応Ⅲ(学業不振問題)					
9	問題行動への対応Ⅳ(非行・暴力・器物破損)					
10	問題行動への対応Ⅳ(非行・暴力・器物破損)					
11	問題行動への対応Ⅳ(非行・暴力・器物破損)					
12	教科指導や特別活動の指導と生徒指導					
13	学年・学級経営と生徒指導					
14	学年・学級経営と生徒指導					
15	まとめ(私の生徒指導論の発表)					
評価方法	定期試験、レポートを主とし、授業への参加度を加味して評価する					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	特になし					